

対話会共通事項通知（全体公開）

NO	項目	内容
1	事業期間について	新病院建設業務（病院本体工事）の契約日は令和5年4月1日以降とします。
2	国庫補助等について	町立病院の改築にあたり、現在、国土交通省の補助金（都市防災総合推進事業等）の活用を予定しております。具体的な内容については現在、国と協議中ではありますが、補助金の活用にあたっては、スケジュールや事業内容等に変更・調整が必要となる場合がございますので、あらかじめご承知おきください。
3	植栽保存について	病院敷地内の樹木において保存が必要となる樹木はございませんが、老健施設の名前の由来となった「こぶし」の樹木がございます。樹木の位置は対話会質疑回答資料1に示します。
4	土地利用の考え方	実施要領 P2 に掲載の事業検討エリアと既存病院の跡地を一体として整備し、敷地全体の有効利用を図ってください。 経常的にメンテナンスが生じる整備等については必要最低限とし、快適な療養空間となるような全体を整備する案（舗装や緑化施設など構築物による整備）をご提案ください。
5	病院北側の中央通り側からの入口設置について	病院北側の中央通りは、ウポポイへのアクセス路であることから、車両の滞留が生じないよう配慮願います。 また、本路線については、ウポポイ開業前に交通アクセスの改善を目的として、関係機関と協議してきた経過がございますので、中央通りからの侵入は避けてください。
6	プロット図の取扱いについて	プロット図は技術提案の参考資料として配布しておりますので、事業者各位のより良い提案を期待します。設備プロットの各設置数は、参考資料で示す数量を下回らない計画として下さい。
7	生理検査室と検体検査室の隣接について	生理検査室と検体検査室の隣接は不要とします。
8	生理検査室と救急部門の近接について	生理検査室と救急部門の近接は不要とします。

9	1階に設ける部屋について	原則、津波対策として病院機能を全て2階以上に上げるという考えに基づき、管理運営上どうしても1階に降ろさざるを得ない部屋に限って下さい。 1階においても病院事業継続上、支障ない対策を施したもの、法的規制で地上設置が必要なものなどは、この限りではありません。
10	防水仕様について	防水材料についてはメーカーがカタログ上、耐久性を45年としているものがありますが、45年と明記がなくともメーカーによっては同等の耐久性があると説明のつく製品もございます。要求水準の主旨としては、性能的には30年～45年の耐久性があるにもかかわらず、防水性能保証としては10年という横並びの保証を超える提案を期待するものです。
11	杭等の撤去について	要求水準配付時の別添資料2-2の柱状図とφ400・6mが97本の杭を想定して工事費を積算して下さい。
12	免震の評価について	評価は耐震構造を基準としており、免震は評価対象外となります。ただし、免震構造の考え方や費用等については、要求水準書P29の※印にて参考として提案することとなっております。
13	津波対策・構造壁について	官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年制定）を参照してください。
14	地元貢献提示金額について	プレゼンにて提案した地域貢献額は、必ず履行していただきます。エビデンスのある金額設定と履行を裏付ける検証方法を明らかにしたうえで、地域貢献額を算出して下さい。 地元貢献額は単なる代理店への発注ではなく、実質的に地元へ発注される金額を示しますので、吟味して算出して下さい。 また、二次発注までを地元発注としてください。イメージ図を対話会質疑回答資料2-1として示します。さらに、この集計表の様式サンプルを対話会質疑回答資料2-2として示します。参考とし、任意様式で提出してください。 ※地元発注とは、白老町内に本店がある法人など、または白老町内に主たる売り上げのある事業所がある法人・個人事業者等への発注が該当します。
15	技術提案書等に記載する内容の明確化について	技術提案書のAとBの内容については、次ページ以降をご参照ください。また、本資料に準拠し提案願います。

技術提案書等の内容 ※下線箇所が追加事項

A. 技術提案書

表紙

A-1. 取組体制とコストコントロールについて

- ・ 取組体制
- ・ 発注者・設計者・施工者間のコミュニケーション
- ・ コストコントロール
- ・ 設計変更時の考え方
- ・ 設計・施工工程

A-2. 建築計画について

- ・ 地域性・将来性を踏まえた設計
- ・ 医療提供の機能と運営
- ・ 療養環境・執務環境
- ・ 将来対応

A-3. 設備計画について

- ・ 設備計画の概要
- ・ ライフサイクルコスト（エネルギー消費量の推計・寒冷地仕様（外断熱等）と省エネルギー法の基準を満たすことの確認資料）
- ・ 維持管理

A-4. 病院の安全・安心について

- ・ 構造設計の概要
- ・ 地震対策
- ・ 津波対策
- ・ 防火対策
- ・ 寒冷地・雪対策
- ・ 汚染対策・パンデミック対策、院内感染対策

A-5. 地元貢献・その他提案について

- ・ 町内企業への発注額（対話会質疑回答資料 2-2 の様式サンプルを参考とし、発注金額の詳細を任意様式にて提出すること。）
- ・ 町民、周辺住民への配慮
- ・ ピロティ部分の有効活用案
- ・ その他

B. 基本計画・図面・仕上げ表・建具表・設備プロット図

表紙

B-1. 計画概要

- ・ 建築計画概要 全体計画・階構成などについて、わかりやすく記載
- ・ 設備計画概要 設備概要・ポイントについて、わかりやすく記載
- ・ 構造計画概要 構造概要・ポイントについて、わかりやすく記載
- ・ 解体計画概要 解体概要・ポイントについて、わかりやすく記載

B-2. 配置計画

- ・ 配置計画
- ・ 提案のポイント アプローチ、院外薬局通路、車路・歩道、2階への車路、駐車場等について、わかりやすく記載

B-3. 平面計画

- ・ 各階平面計画
- ・ 部門配置、動線計画
- ・ 提案ポイント 各階、各部門、各室について、わかりやすく記載
- ・ 各室設備プロット図 手洗い、流し、汚物流し、ミニキッチン、排水溝、ユニットバス・シャワー、コンセント・非常用コンセント、照明・特殊照明等、電話設備、LAN配管、テレビ、放送設備、給水・給湯、排水等、スプリンクラー、医ガス等 } 等の図面への記載
- ・ 各種設備集計表 室別の上記設備プロットの集計表（総数まで明記） } 室別のまとめ表の作成
- ・ 仕上げ表 外部仕上げ・内部仕上げ
- ・ 建具表 各室の建具

B-4. 立面計画・断面計画

- ・ 立面図
- ・ 断面図
- ・ 提案ポイント 外断熱工法などについて、わかりやすく記載

B-5. 各室計画

- ・ 病室（多床室、個室、感染個室）の詳細平面
- ・ スタッフステーションの家具等の配置計画
- ・ 診察室・処置室・救急部門等の詳細計画
- ・ 提案ポイント 病室の環境、執務の環境など、わかりやすく記載。上記以外に提案があれば記載のこと。

B-6. 各種検討

- 6-1. エレベーター計画 乗用、人荷用、ベッド・車椅子搬送、給食台車搬送、ゴミ等の搬出について、わかりやすく記載
- 6-2. 仕上げ計画 床材、壁、建具、外部窓などの計画をわかりやすく記載
- 6-3. サイン計画 外部サイン、内部サイン

- 6-4. 外構計画 緑地計画、車路計画・駐車場計画、歩道・駐輪場計画
融雪装置計画、外灯計画
雨水排水計画（雨水排水量の推計）
敷地全体の一体的な整備計画について分かりやすく記載
（現在の状態から、整地、緑地、舗装など、整備すること）

B-7. 構造計画概要

- 7-1. 基本方針
7-2. 設計上準拠する主な指針・規準等
7-3. 構造概要
7-4. 地盤概要・基礎構造計画 ピロティ案等についても、わかりやすく記載
7-5. 免震計画の考え方 免震構造とした場合の構造計画について、わかりやすく記載
コストは参考値として工事費内訳に記載

B-8. 電気設備計画概要

- 8-1. 基本方針 電気のエネルギー消費計画、省エネルギーのポイントなどについて、わかりやすく記載
8-2. 電気設備概要
8-3. 非常用発電機計画
8-4. 保安照明点灯計画
8-5. 照明点滅制御計画
8-6. 屋外電気設備計画
8-7. 電話設備計画
8-8. ナースコール設備計画
8-9. その他電気設備の計画
8-10. 電気設備各室別諸元表 （共通通知資料1参照）
8-11. 単線結線図

B-9. 機械設備計画概要

- 9-1. 基本事項 エネルギー消費計画などについて、わかりやすく記載
9-2. 空気調和設備計画 空調ゾーニング計画などについて、わかりやすく記載
9-3. 換気設備計画
9-4. 給排水衛生設備計画
9-5. 屋外給排水設備計画
9-6. 融雪設備計画
9-7. 消火設備計画
9-8. 医療ガス設備計画
9-9. 屋外設備配置図
9-10. その他機械設備計画

9-11. 機械設備各室別諸元表 (共通通知資料 2、共通通知資料 3 参照)

B-10. その他

10-1. 法規チェック表 (建築基準法、消防法、その他主要法令)

10-2. 法規チェック図

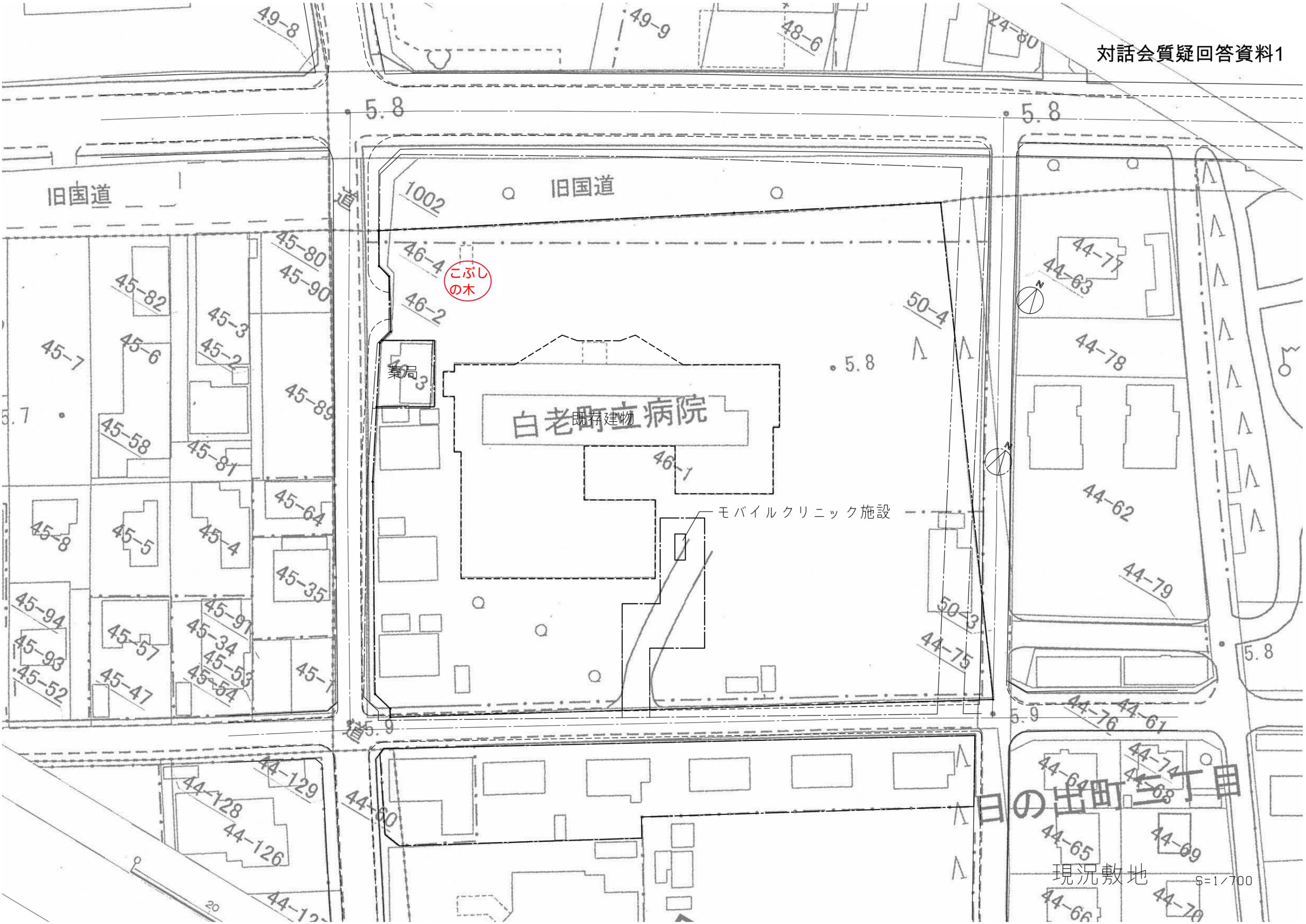
10-3. 防火区画計画

10-4. 特記仕様書 建築、構造、電気設備、機械設備、外構、解体、その他必要な工事項目 (最新の標準仕様書から作成)

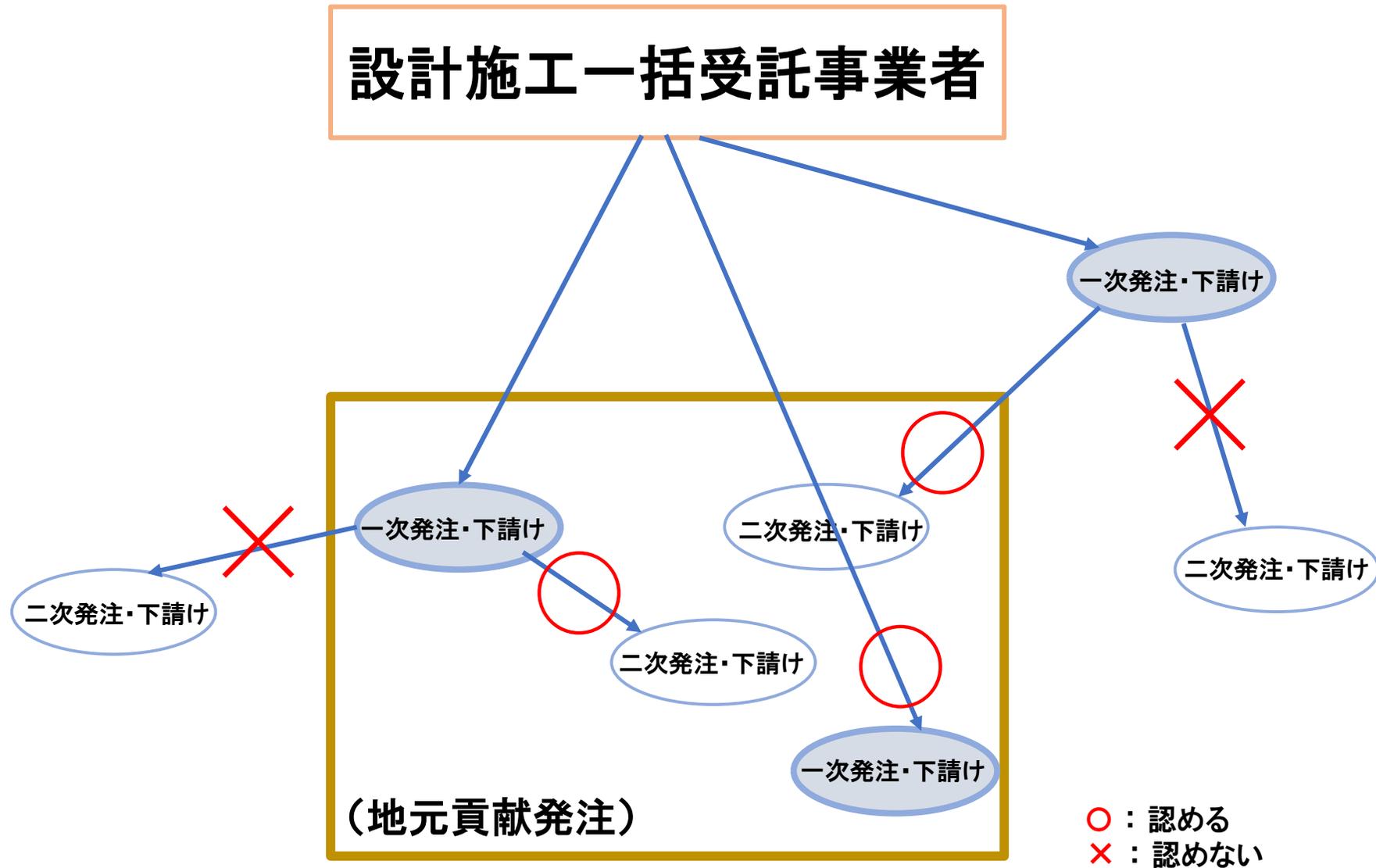
B-11. 仮設計画・設計施工工程計画

・ 仮設計画 既存病院への工事の影響度、近隣への配慮など、わかりやすく記載

・ 工程計画 設計行程、工事工程、各々で時間をかけるポイント、短縮のポイントなど、わかりやすく記載



地元貢献が認められる発注と認められない発注



白老町立病院改築事業 町内企業への発注金額の詳細 (様式サンプル)

(単位:千円)

一次発注				二次発注			
工事名称	工種	発注先	発注予定金額	工種	発注先	発注予定金額	
地業工事	掘削工事	白老町	A) 100,000				
	杭工事		200,000				
建設工事	躯体工事	白老町	B) 500,000	型枠工事	白老町	b1) 50,000	
	町内企業への 発注業務 ^{※3} = <small>躯体工事の 一次発注額 -二次発注額</small>			鉄筋工事	白老町	b2) 200,000	
					その他		b3) 200,000
				B-b) 50,000	小計 b)=Σb1~b3		b) 450,000
	外部仕上工事		500,000	△△工事	白老町	c1) 50,000	
内部仕上工事			500,000	その他		300,000	
				○○工事	白老町	d1) 50,000	
設備工事	電気設備工事		500,000	その他		300,000	
	機械設備工事		500,000	○○工事	白老町	e1) 50,000	
外構工事	舗装整備工事		200,000	その他		300,000	
				○○工事	白老町	f1) 50,000	
解体工事	既存病院解体		100,000	その他		100,000	
	医師住宅解体	白老町	c) 20,000			50,000	
その他調達等	ガソリン、食料、宿泊費等	白老町	D) 5,000				

※1 本様式はサンプルであり、作成にあたっては任意様式で作成してください。

※2 一次、二次発注とも、町内企業への発注が想定される工種のみ記載のこと。あくまで想定であり、社名等の明記は不要。

※3 躯体工事は、一次発注を町内企業にした例だが、二次発注があればそれを除いた金額が町内発注額となる。

※4 一次発注が町内企業の場合は、他項目でも躯体工事の例の様に二次発注があれば、同様に記入すること。

※5 町内企業発注額は黄色塗りつぶしをすること。

町内企業発注額	一次発注合計 ΣA~D	175,000	二次発注合計 Σb1, b2~g1	500,000
			総計	675,000

階	部門	室名	照明設備						コンセント設備				電話モジュラー	接地方式			構内LANモジュラー		放送設備		ナースコール	待合呼出	インターホン	テレビ端子	火災報知設備		備考
			照明条件		電源種別		点滅方法		一般	UPS	医療	発電		医用接地方式保護	非接地方式	有線	無線	スピーカ	アンプ	受信機					感知器		
			照度	器具形状	商用	発電	手元	リモコン																		センサー	
1	外来	眼科診察室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○	○			○	○						マイク			○			
		眼科処置室	500lx	下面開放型	○	1/2	○		調光(0-100%)	○		○			○	○								○			
		眼科検査室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○		○	○								○	自動水栓のみ(発電)		
		感染診察室	500lx	下面開放型	○	全灯	○			○		○	○		○	○								○	自動水栓のみ(発電)		
		感染待合室	200lx	ダウンライト	○	1/2	○			○			○			○								○	自動水栓のみ(発電)		
		トリアージ室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○				○								○			
		内科泌尿器科	500lx	下面開放型	○	1/2	○		調光(0-100%)	○		○	○			○	○					マイク			○	自動水栓のみ(発電)	
		内科1診	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○	自動水栓のみ(発電)	
		内科2診	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○	自動水栓のみ(発電)	
		整形外科1診	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○	自動水栓のみ(発電)	
		処置室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○				○	○								○		
		外科1診	500lx	下面開放型	○	1/2	○		調光(0-100%)	○		○	○			○	○					マイク			○	自動水栓のみ(発電)	
		準備室	300lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○									親機					
		耳鼻咽喉科診察室・処置室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○		
		処置室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○								○	自動水栓のみ(発電)	
		前室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○						○	○								○		
		相談室	300lx	スクエアベースライト	○	1/4	○			○						○	○								○		
		精神科診察室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○		
		精神科中待	200lx	ダウンライト	○	1/4	○			○						○	○					スピーカ			○		
		小児科待合室	200lx	ダウンライト	○	1/4	○			○						○	○					スピーカ			○		
		小児科診察室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○					マイク			○		
		小児科処置室	500lx	下面開放型	○	1/2	○			○		○	○			○	○								○	自動水栓のみ(発電)	
		WC	200lx	ダウンライト	○	1/4			人感(点滅)	○			○												○	自動水栓のみ(発電)	
		感染待合室	200lx	ダウンライト	○	1/4	○			○						○	○								○		
		外来受付1	500lx	下面開放型	○	1/4	○			○						○	○								○		
		外来受付2	500lx	下面開放型	○	1/4	○			○						○	○								○		
		WC	200lx	ダウンライト	○	1/4			人感(点滅)	○			○												○	自動水栓のみ(発電)	
		HCWC	200lx	ダウンライト	○	1/4			人感(点滅)	○			○												○	自動水栓のみ(発電)	
		外来スタッフ室	500lx	下面開放型	○	1/4	○			○						○	○								○		
		スタッフ前室	200lx	ダウンライト	○	1/4	○			○						○	○								○		
外来待合1	300lx	スクエアベースライト	○	全灯		○		○						○	○						スピーカ			○			
外来待合2	300lx	スクエアベースライト	○	全灯		○		○						○	○						スピーカ			○			
外来待合3	300lx	スクエアベースライト	○	全灯		○		○						○	○						スピーカ			○			
中央処置室	500lx	下面開放型	○	全灯	○			○		○	○			○	○								○				
1	救急	風除室3	200lx	ダウンライト	○	1/2	○																	○			
		処置室(器材スペース含む)	750lx	下面開放型	○	全灯	○		○	○	○	○			○	○								○			
		救急外来診察室	500lx	下面開放型	○	全灯	○			○		○	○			○	○							○			
		救急外来待合室	200lx	ダウンライト	○	1/4	○			○						○	○							○			
		点滴処置	500lx	下面開放型	○	全灯	○			○		○	○			○	○							○			
		準備 スタッフ室	500lx	下面開放型	○	1/4	○			○						○	○					親機			○	自動水栓のみ(発電)	
		WC	200lx	ダウンライト	○	1/4			人感(点滅)	○			○											○	自動水栓のみ(発電)		

サンプル

